



広場から

脇川郁也

人々の声が満ちてくるまえに  
すがたを変えてゆく  
中空から差し込むひかりのなかで  
街はふるえている

羽化をまえにした蝶が  
彩りのなかをうごめくような  
強靱な意志が私は好きだ  
生まれ変わろうとする力が  
地響きをたて  
旅人をも奮い立たせる

居心地のよいみどりの広場には  
どこからともなく匂ってくる潮風に誘われ  
日差しにたたずむ若いカップルのささやきと  
セーラー服の一群からはじける笑い声  
幼子が指さす先には  
首をかしげながら  
あくびをするキリンが見える